

CD資料『日本語学習者の音声 —日本語テキストの朗読例—』の解説

国立国語研究所 言語行動研究部 主任研究官 前川喜久雄

要旨: D1班作成のCD資料についての解説をおこなった。資料収録の目的、朗読用テキストの分析、ダビング作業の記録について言及したのち、インドネシア話者と韓国語話者の発話の記述例をしめした。

1. CD作成の経緯

重点領域研究「日本語音声」計画研究班のひとつとして、D1班では発足当初から日本語学習者の音声資料収集を研究目的のひとつに掲げていた。しかしながら、実際に今回のCDを作成するにいたるまでには曲折を経ているので、その経緯をここに簡単に記録しておくことにする。

「日本語音声」発足と同時に、D1班では日常生活のなかで使用される短かい発話を中心とする調査項目を考案した。この項目は通称「50項目」と呼ばれたものであり、D1班では研究発足後約2年間にわたって、日本各地の大学への留学生を対象として、この調査項目による資料収集をおこなった。

しかし、資料の蓄積にともなってD1班内ではこの調査票についての反省が生じてきた。問題のひとつは「50項目」が日本語学習者の音声の韻律面のみを調査しようとしていることであった。日本語音声教育に関する研究の現状を考えると、韻律的特徴と同時に分節音に関する特徴をも重視すべきであるとの認識が生じたのである。50項目に試用されている分節音を分析してみると、その分布にはおおきな偏りが発見される。いわゆる五十音表にふくまれるモーラでも欠落しているものがあるし、特殊拍など日本語学習上全般的に問題となりやすい項目の分布がかぎられていたりする。また、母語別によって問題となる拗音、破擦音などの分布にも問題があった。

この問題を勘案した結果、D1班の資料収集を以下のように方向転換することに決定した。第一にやみくもに多くの学習者の資料を収集するのではなく、韻律もしくは分節音に関して母語の影響を顕著にしめす特徴的な学習者の資料を重点的に収集すること、第二に「50項目」では無視されていた分節音の特徴を調査するために新たな調査項目を用いること、の二点である。全体として事例研究の色彩を強める方向への転換であった。

2. テキストの構成

新規に採用した朗読用テキストはCD添付のリーフレットに印刷されている。ここではテキストを構成する分節音について統計的な観点から分析する。3種類のテキスト(対話1・対話2・独話)全体をとおして出現するモーラの統計をとると以下のとおりである。片仮名で表示されたモーラにつづく数字が、各モーラの総出現回数であり、その直後の()内の数字が語頭位置に出現した回数である。()のないモーラは語頭位置には出現していない。

朗読用テキストにおけるモーラの分布

カ 129(22)	ガ 66(3)	キャ 2(2)	ギャ 2(2)	
キ 60(10)	ギ 14(3)			
ク 67(5)	グ 5	キュ 7(1)	ギユ 1(1)	
ケ 20(9)	ゲ 8(7)			
コ 46(16)	ゴ 10(5)	キョ 12(5)	ギョ 6(2)	
サ 32(16)	ザ 4(2)	シャ 23(4)	ジャ 5	
シ 118(28)	ジ 24(7)			
ス 85(15)	ズ 6	シュ 17(15)	ジュ 11(7)	
セ 36(8)	ゼ 7(2)	シェ 1	ジェ 0	
ソ 30(19)	ゾ 1	シヨ 17(6)	ジヨ 12(1)	
タ 80(8)	ダ 23(2)	チャ 7(2)		
チ 21(4)				
ツ 46(14)		チュ 14(8)		
テ 73(4)	デ 79(6)	チェ 3(3)		
ト 91(11)	ド 20(4)	チヨ 10(6)		
ナ 67(18)		ニャ 0		
ニ 82(6)				
ヌ 1(1)		ニユ 2(1)		
ネ 17(5)				
ノ 108(3)		ニョ 0		
ハ 18(11)	バ 14(3)	ヒャ 1(1)	ビャ 0	ファ 0
ヒ 18(15)	ビ 5(2)			フィ 0
フ 16(13)	ブ 11(1)	ヒユ 0	ビユ 0	
ヘ 7(7)	ベ 2(2)			フェ 0
ホ 16(7)	ボ 1	ヒョ 3(3)	ビョ 0	フォ 1
パ 8		ピャ 0		
ピ 2(1)				
プ 3		ピユ 0		
ペ 3(1)				
ポ 1		ピョ 1		

マ	75(11)	ミヤ	0
ミ	9(4)		
ム	10(7)	ミュ	0
メ	15		
モ	41(7)	ミヨ	0

ヤ 13(7)
 ユ 22(15)
 ヨ 28(13)

ラ	37	リヤ	1
リ	51(7)		
ル	39	リュ	3(2)
レ	38(5)		
ロ	23(5)	リヨ	15(9)

ワ 63(9)

ア (22)
 イ (29)
 ウ (2)
 エ (5)
 オ (23)

撥音 178	aN 54	Na 0	N+/k/ 21	N+/d/ 33	N+/m/ 4
	iN 31	Ni 7	N+/g/ 14	N+/n/ 26	N+/y/ 1
	uN 12	Nu 0	N+/s/ 22	N+/h/ 1	N+/r/ 5
	eN 47	Ne 1	N+/z/ 9	N+/b/ 3	N+/w/ 6
	oN 34	No 4	N+/t/ 15	N+/p/ 0	N+/Q/ 1
					N+#/ 5

(# は語末をあらわす)

促音 73	Q+/k/ 15	Q+#/ 1
	Q+/s/ 7	
	Q+/t/ 38	
	Q+/h/ 0	
	Q+/p/ 12	

この頻度を確定するためには、所与のテキストが現実にもどう発音されるかを決定する必要がある。また、語頭での頻度を計算するためには「語」境界を定義する必要がある。実際にはいずれも困難な問題であるのだが、ここではごく単純に標準的とおもわれる発音を想定し、また、韻律上の境界を考慮にいれながら、およそ文節に該当するものを語とみなしている。したがって、上記の数字はあくまで参考にとどめるべき性質のものである。また、ア行に関しては語頭位置の出現回数のみをしめしている。これは、語中位置には長母音化や二重母音化が生じるために、標準的な発音を特定しがたいためである。さらに、実際にCDに収録された発話は、上記の統計をとる際に想定した発音とは必ずしも一致していないことにも注意する必要がある。実際の発話では、テキストにある助詞が省略されたり、逆にテキストにない助詞が付加されていたりすることがある。また、一部には「一斉」を「イッサイ」と読んだりするような読み誤りも、そのまま収録されている。

3. 資料の録音と編集

音声録音の手順についてはCD付属のリーフレットで簡単な解説をおこなっている。そこで述べているように、最終的にCDに収録された音声は、つづけて朗読されたものではなく、各種の言い誤りをふくむマスター・テープを、原則として段落を単位として後日編集しなおしたものである。以下はその編集過程の記録である。

3. 1 インドネシア話者

対話1→対話2→独話→対話2→対話2→対話1の順に各テキストを繰り返し録音した。CDに収録したのは、対話1の2回目、対話2の2回目、独話の1回目の各テイクである。各テイク内部でも、読み誤りなどのために同一の段落を複数回録音している場合があり、その場合は、DAT間のダビングで不要な部分を削除している。その結果、段落間のポーズ長は自然なものではなくなっている。以下にダビングの箇所をしめす。

対話1

- 1: 「角田先生を御存知ですか」から「いわゆる変人っていうんでしょうか」まで連続して録音。
- 2: 「そうですねえ、全然常識がないというわけじゃありませんが」から「同じ専門の人たちは、彼の業績を高く評価していますよ」まで連続。
- 3: 「へえ、そりゃあ、まったく初耳だなあ」から「あのときは本当にびっくりしたもんです」まで連続。

対話2

- 1: 「ところで、社会学といえば、日本の社会では自動車が大きな社会問題になっていますね」が連続。
- 2: 「そうです。自動車については、いろいろな問題がありますが」から「その議員さんは経費のことをちゃんとチェックしていないんじゃないんですか」まで連続。
- 3: 「まったくそのとおりです」から「下手な鉄砲も数うちあたるとおもっているようです」まで連続。
- 4: 「市長さんも次の選挙のために」から「混乱をまねくばかりですからね」まで

連続。

独話 1

- 1: 「今年の1月5日に山陰の小都市に」から「なかなか立派な顔つきをしています」まで連続。
- 2: 「玄関をあがると、暗い廊下が奥につづいており」から「ゆっくりお湯につかって、旅のつかれをとりました」まで連続。

3. 2 韓国語話者

対話 1 → 対話 2 → 独話の順に各テキストとも1回だけ収録。話者および録音者の都合で、録音時間に制約があったためである。ダビング箇所は以下のとおりであるが、ダビング箇所が段落の内部に位置している場合がある。

対話 1

- 1: 「角田先生を御存知ですか」から「そのときに紹介されたんです」まで連続。
- 2: 「一昨年、東京の一流の出版社から」から「その辞典の中心的な著者のひとりが角田先生なんですよ」まで連続。
- 3: 「そうですか。そんな有名な出版物に参加していたとは」から「タバコと一緒にコーヒーやお茶ばかりのんでいるでしょう」まで連続。
- 4: 「それに学生のはなしでは」から「普通の人には理解しにくい人じゃないでしょうか」まで連続。
- 5: 「いわゆる変人っていうんでしょうか」が連続。
- 6: 「そうですねえ、全然常識がないというわけじゃありませんが」から「同じ専門の人たちは、彼の業績を高く評価していますよ」まで連続。
- 7: 「へえ、そりゃあ、まったく初耳だなあ。そうだったんですか」が連続。
- 8: 「まあ、彼の場合、あの異常な食生活が」から「あのときは本当にびっくりしたもんです」まで連続。

対話 2

- 1: 「ところで、社会学といえば日本の社会では自動車が大きな社会問題になっていますね」が連続。
- 2: 「そうです。自動車については、いろいろな問題がありますが」から「この街でも、週末には、どこの駐車場も満員ですよ」まで連続。
- 3: 「ひと月ほど前の週末に駐車違反の一斉取り締まりをおこなったら」から「野党の議員が駅前に建設するよう市長に要求しています」まで連続。
- 4: 「へえ、無料駐車場？」から「経費のことをちゃんとチェックしていないんじゃないませんか」まで連続。
- 5: 「まったくそのとおりです」から「下手な鉄砲も数うちゃあたるとおもっているようです」まで連続。
- 6: 「市長さんも次の選挙のために」から「混乱をまねくばかりですからね」まで連続。

独話

- 1: 「今年の1月5日に山陰の小都市に」から「冬の山陰の非常な寒さが身にしみました」まで連続。
- 2: 「どんよりとした天気」から「すっかりごえてしまいました」まで連続。
- 3: 「旅館を紹介してくれた知人のはなしでは」から「30分ちかく歩きました」まで連続。
- 4: 「ちえ、山陰なんかやめて、九州にでもすればよかった」から「小皿の牛乳をピチャピチャなめはじめました」まで連続。
- 5: 「わたしはネコが好きなので」から「やれやれ、サービスの悪い旅館です」まで連続。
- 6: 「ちょっと気分を悪くしましたが」から「ついでにストーブの石油が切れたことを知らせておきました」まで連続。
- 7: 「風呂場にはいってみてびっくりしました」から「いかにも山陰の風土を感じさせました」まで連続。

3. 3 タイ語話者

対話1 → 対話2 → 独話の順に各テキストとも1回ずつ収録した。この話者の場合、録音時間に制約があったわけではなく、朗読に問題が少なかったためである。

対話1

- 1: 「角田先生を御存知ですか」から「その辞典の中心的な著者のひとりが角田先生なんですよ」まで連続。
- 2: 「そうですか。そんな有名な出版物に参加していたとは」から「いわゆる変人っていうんでしょうか」まで連続。
- 3: 「そうですねえ、全然常識がないというわけじゃありませんが」から「あのときは本当にびっくりしたもんです」まで連続。

対話2

- 1: 「ところで、社会学といえば日本の社会では自動車が大きな社会問題になっていますね」が連続。
- 2: 「そうです。自動車については、いろいろな問題がありますが」から「経費のことをちゃんとチェックしていないんじゃないでしょうか」まで連続。
- 3: 「まったくそのとおりです」から「混乱をまねくばかりですからね」まで連続。

独話

- 1: 「今年の1月5日に山陰の小都市に」から「知人のいっていたとおり、古い日本式の旅館です」まで連続。
- 2: 「玄関には誰もいません」から「いかにも山陰の風土を感じさせました」まで連続。

3. 4 中国語話者

対話1 → 対話2 → 独話の順に、それぞれ1回ずつ収録。ダビング箇所は以下のとおり。

対話 1

- 1: 「角田先生を御存知ですか」から「その辞典の中心的な著者のひとりが角田先生なんですよ」まで連続。
- 2: 「そうですか。そんな有名な出版物に」から「ひょっこり授業にでた人はギョッとしますよ」まで連続。
- 3: 「普通の人には理解しにくい人じゃないでしょうか」から「同じ専門の人たちは、彼の業績を高く評価していますよ」まで連続。
- 4: 「へえ、そりゃあ、まったく初耳だなあ。そうだったんですか」が連続。
- 5: 「まあ、彼の場合、あの異常な食生活が」から「あのときは本当にびっくりしたもんです」まで連続。

対話 2

- 1: 「ところで、社会学といえば」から「結局取り締まりは半日で中止せざるをえなかったそうです」まで連続。
- 2: 「警察内部では週末だけ」から「野党の議員が駅前に無料駐車場を建設するよう市長に要求しています」まで連続。
- 3: 「へえ、無料駐車場？」から「下手な鉄砲も数うちゃあたるとおもっているようです」まで連続。
- 4: 「市長さんも」から「混乱をまねくばかりですからね」まで連続。

独話

- 1: 「今年の1月5日に山陰の小都市に」から「知人のいっていたとおり、古い日本式の旅館です」まで連続。
- 2: 「玄関には誰もいません」から「小皿の牛乳をピチャピチャなめはじめました」まで連続。
- 3: 「わたしはネコがすきなので」から「なかなか立派な顔つきをしています」まで連続。
- 4: 「玄関をあがると、暗い廊下が」から「気をとりなおして、風呂にはいることにします」まで連続。
- 5: 「浴衣にきかえて、さきほどの廊下を」から「石油が切れたことを知らせておきました」まで連続。
- 6: 「風呂場にはいってみてびっくりしました」から「ゆっくりお湯につかって、旅のつかれをとりました」まで連続。
- 7: 「風呂からあがって座敷にもどると」から「いかにも山陰の風土を感じさせました」まで連続。

3. 5 フランス語話者

対話1→対話2→独話→対話1の順に録音。対話1の2回目をCDに収録している。この話者には、当初、他の話者と同じ日本語テキストをわたしたのだが、後日、話者からの要請があったので、ローマ字化したテキストを作成した。録音はローマ字テキストの朗読である。

対話 1

- 1: 「角田先生を御存知ですか」から「そのときに紹介されたんです」まで連続。
- 2: 「一昨年、東京の一流の出版社から」から「あのときは本当にびっくりしたものです」まで連続。

対話 2

- 1: 「ところで、社会学といえれば日本の社会では自動車が大きな社会問題になっていますね」が連続。
- 2: 「そうです。自動車については」から「野党の議員が駅前に無料駐車場を建設するよう市長に要求しています」まで連続。
- 3: 「へえ、無料駐車場？」から「ちゃんとチェックしていないんじゃないですか」まで連続。
- 4: 「まったくそのとおりです」から「混乱をまねくばかりですからね」まで連続。

独話

- 1: 「今年の1月5日に山陰の小都市に」から「知人のいっていたとおり、古い日本式の旅館です」まで連続。
- 2: 「玄関には誰もいません」から「石油が切れてしまったのです」まで連続。
- 3: 「やれやれ、サービスの悪い旅館です」から「ついでにストーブの石油が切れたことを知らせておきました」まで連続。
- 4: 「風呂場にはいってみてびっくりしました」から「ゆっくり、お湯につかって、旅のつかれをとりました」まで連続。」
- 5: 「風呂からあがって座敷にもどると」から「いかにも山陰の風土を感じさせました」まで連続。

4. CDの利用について

今回収集した資料は、対照言語学的な音声のエラー分析の資料としての性質をもっている。しかし、CDには資料の一部しか収録していないので、研究資料としては量的に（そして恐らく質的にも）十分なものとはいえない。このCDの現実的な利用法としては日本語教師の養成課程で学生を学習者の多様な発話に触れさせる一助として使用されることが多いのではないかと予想されるが、その種の利用に際しては、収録されている発話のどの部分にどのような誤りが存在するかについての一定の了解が教師の側に存在することが望まれる。以下にしめすのは、そのような了解を形成するための参考資料として、CDに収録された発話の一部を記述したところみである。報告書の紙幅の関係で、インドネシア語話者と韓国語話者の発話の記述例だけを記載する。

4. 1 記述の方針

記述にあたっては、記述音声学的な客観性を追及することをせず、標準的な日本語（東京方言）と比較して、音声教育のうえで配慮が必要とおもわれる音声上の問題が存在すると感じられる箇所を指摘することを方針とした。日本語学習者の発話が日本語話者の耳に、日本語音韻の枠組みのなかで、どのように聞こえるかを分節音レベルで表記したものと解釈していただきたい。記述のフォーマットとしては、日本語テキストを漢字仮名まじり表

記でしめした下に、問題となる箇所の発話を片仮名（半角文字）で記述する形式をとった。[s₁]=[si], [s₂]=[sju] のようであり、撥音の持続時間が充分でないものは上付きの[ʔ]で表記した。一部アルファベットを利用しているが、これはIPA記号として使用したものである。

このほか、日本語テキスト中にも記述情報を付加した。スラッシュ「/」は発話中のポーズの位置をしめす。発話者がテキストにない助詞などを付加した場合は、それを（）に入れてテキストに付加している。また、テキストの一部が省略された場合は、その部分に中線をひいている。発話中のいいよども等は【】に入れてテキスト中に記述した。テキスト文末の上向きないし下向き矢印「↑↓」は、文末における上昇ないし下降イントネーションをしめす。文末以外で、特定のモーラが卓立をうけているように聞こえる箇所には上線を付した。

4. 2 インドネシア語話者の発話の記述例

この話者の発話は無声歯茎硬口蓋摩擦音[s̺]をふくむモーラ /ʃ/, /ʃ₁/, /ʃ₂/ 等の発音に顕著な特徴がある。まず、母音が無声化する環境に/ʃ/があらわれる場合、母音をともなわない無声歯茎摩擦音[s̺]として実現される。以下の記述ではこれをただ[s̺]と標記しているが、この子音は音声学的には直後の無声子音とひとまとまりになって [st], [sk] などの syllable onset を構成しているように聞こえる。（ちなみにインドネシア語の音節頭にたつ consonant cluster は/ps/をのぞけば英語のそれとほぼ同様である。）/ʃ/の母音が長母音であるか/ʃ/が有声子音の直前に位置する場合には、多く [si] (= [s₁i]) と実現されている。

次に拗音の場合。/ʃ₂/の大多数は [sa] と発音されている。/ʃ₁/は [s̺] と発音される場合と [s₁] と発音される場合とがある。/ʃ₃/も同様に [s̺] となる場合と、[s̺₃] ないし [s̺₃] となる場合とがある。これらの差異がどういう条件で生じるのかはよくわからない。

Halim(1974, p. 176)はインドネシア語の[s̺]と[s̺]について、語頭では対立し、語中では自由変異になると述べている。今回の資料のうち、直音に関しては、(「語頭」を適切に定義できれば)この説明がある程度まで有効であるとおもわれる。しかし、拗音に関しては明らかに語頭位置にある「社会」などの語においても[s̺]と[s̺]の変異がしばしば観察されているので、この説明は有効ではない。方言の特性であるかもしれず、また、日本語で拗音が直音+「ゃ」「ゅ」「ょ」で表記されることと関係しているのかもしれない。

----- 対話 1 -----

A 角田先生を御存知ですか

[セツ]

B はい/ 3週間ほどまえに/ 初めておめにかかりました

[ス-カ]

[ス]

この大学に/客員教授でいらっしゃって/ いくつか/集中授業

[イラッシャッテ]

[ス-チュ-]

をしていただきましたが/ そのときに/ 紹介されたんです

[マスカ]

[ソカ]

A 一昨年/ 東京の一流の出版社から/ 出版された/ 社会学の辞典があります

[スエツハ'ンサ] [ソエツハ'ン] [ソカカガ'ク]

出版されてすぐ/ 学会の賞を受賞した有名な辞典なんです/

[スエツハ'ン]

[ソ-] [ソ'エツソ-]

その辞典の中心的人な/ 著者のひとりが/ 角田先生なんです

[チュソツテキ] [フサ]

[セツ]

B そうですか(一) そんな有名な/ 出版物に参加していたとは/

[エ-メ]

[スハ'ソツ'ク]

[ス]

不思議な気がしますね

[スイ]

何しろ/ あの先生は/ 授業のないときは/ タバコと/ 一緒に/

[スイ]

[セツ]

コーヒーや/ お茶ばかり/ のんでいるでしょう

[コ-ヒ]

[スヨ-]

それに/ 学生のはなしでは/ 授業中にも/ リンゴや/ チョコレートを/

[スイ]

かじっていたりするらしいから/ ひょっこり授業にでた人はギョッとしますよ(一)

[スイ-]

普通の人には/ 理解しにくい人じゃない(ん)でしょうか

[フツ]

[スヨ-カ]

いわゆる/ 変人っていうんでしょうか

[スヨ-カ]

A そうですねえ/ 全然常識がないというわけじゃありませんが/

[ソ'ヨツキ]

確かに変った人物です

[タスカ]

教師としても/ 学生の評判はあ(ん)まりよくないようです

[スイ]

[ガ'セ]

そもそも/ 教育が すきじゃないんですね(一)

しかし(一)/ 研究者としては/ 普通にちゃんと/

[スカスィー] [ケノキユツト] [ステワ]

通用してゐますよ

[ツ-3]

イギリスに(一)長く留学していた人で/ もともととは/

[ステ]

イギリスの議会制度を専門に勉強していた人だったんです

[ステ]

若いころから/ 元気な人で/ 流行にとらわれない/ 研究を

活発にすすめてきた人ですが/ 最近では/ 帰国子女の/ 就学問題や/ 【日本の...】

日本の海外援助の問題で/ 有名な分析を発表しています

[ステ]

ほかの領域の研究者と/ 激しい論争をしたりもしているんですよ↑

[サ] [スィー] [スカ] [ステ]

彼はちょっと/ 議論が/ 辛辣なので/ 嫌われることも/ あるようだけれど/

[スイツツ]

同じ専門の人たちは/ 彼の業績を高く評価してゐますよ

[ステ]

B へえ/ そりゃあ/ まったく/ 初耳だなあ↓ そうだったんですか

A まあ/ 彼の場合[は]/ あの/ 異常な食生活が/ 周囲の理解を/ 混乱させて

[ソカ] [スィー]

しまうんでしょ(すよ)ね↓

そういえば/ 私も/ いつか/ 彼の研究室を/ 訪問したら/ 机のうえに/

[スカ]

カレー粉の缶が/ おいてあるんです

荷物つかうのかと/ 質問したら/ 眠たくなつたときに/ なめるんだそうです

[スカ]

あのときは/ 本当にびっくりしたもんです

[ホト] [スカ]

===== 対話 2 =====

B ところで/ 社会学といえは/ 日本の社会では/ 自動車が/
[カ] [カ]

大きな社会問題になってやますね↓
[カ]

A そうです

自動車については/ いろいろな問題がありますが/
[カ] [ソデ-]

最近では/ 駐車場不足の問題が注目されています
[フ-ジ'ヨ-]

この街でも/ 週末には/ どの駐車場も満員ですよ
[ス-マツ] [フ-ジ'ヨ]

ひと月ほど前の週末に/ 駐車違反の/ 一斉取り締まりをおこなったら/
[ス-マツ] [フ-ジ] [イツ]

午前中だけで/ 50回以上も/ レッカー車が/ 出動することになって/
[ゴ'セ'ンフ] [イ'ジ'ヨ] [カ]

結局/ 取り締まりは/ 半日で/ 中止/ せざるを/ えなかったそうです
[ジ'ト]

警察内部では/ 週末だけ/ レッカー車を/
[ス-マツ] [カ]

2~3台レンタルしようかと考えているそうですが/ 今度は/ そのレッカー車を/
[カ]

とめておくスペースが/ 警察署に/ ないんだそうです
[リ]

そんなわけで/ 去年/ から/ 市議会では/ (え-)野党の議員が/ 駅前に/

無料駐車場を/ 建設するよう/ 市長に/ 要求しています
[ス]

B へえ↑/ 無料駐車場
[カ]

無料っていうのは/ ちょっと無茶じゃありませんかねえ↓

日本は/ そもそも土地の値段が高すぎるんだから/ 市長が/ 解決できることには/
限界があるはずですよ

その議員さんは/ 経費のことを/ ちゃんとチェックしてやないんじゃありませんか
[ス]

A まったくそのとおりです

税金で/ 無料駐車場なんて要求は/ ちょっと/ 理解に/ 苦しみますよね↓

[ジュー] [サ]

駅前は論外ですし/ 駅の近くにだって/ 無理なことは/

[スイ]

中学生にだってわかるはずなんですけど/ どうも/ 市議会の野党/ 議員は/

下手な/ 鉄砲も数うちあたるとおもっているようです

B 市長さんも/ 次の選挙のために/

その場しのぎの変な返事をしたりしてはいけません

[ス] [ス]

それに/ 軽々しい約束は/ 選挙にも/ 逆効果ですよ↑

[カカスイ]

混乱をまねくば[っ]かりですからね↑

===== 独話 =====

今年の1月5日に/ 山陰の/ 小都市に/ 旅行にでかけました

[ショートスイ] [ス]

東京から(一)/ 京都まで/ 新幹線でゆき/ 京都で/ 別の列車にのりかえました

[レツサ] [ス]

のりかえたのは/ ディーゼル列車で/ 雪に/ おおわれた/

[di:zel] [レツサ] [ワレワ]

【中国...】中国山地のなかを/ ゆっくりと進んでいきます

4時間ちかくかかって/ やっと/ 目的の駅に停車しました

[ヨツカシ] [テサスイマサ]

プラットフォームに/ おりると/ 冬の山陰の/ 非常な/ 寒さが

[プラント]

【身にしました...】身に/ しみました

[ス]

どんよりとした天気で/ 雪も/ ちらちら/ 舞っています

[ス]

駅から/ 旅館まで/ 歩いていくうちに/ すっかりごえてしまいました

[スイ] [ス]

旅館を紹介してくれた知人の/ はなしでは/ 本当は/

[ソカイテ]

[スイ]

15分ぐらいしかかからないはずなのですが/ 重症の方向オンチのわたしは/
[ス] [ス]
【ま...】道にまよってしまい/

雪にぬかるんだ道を/ 30分ちかく歩きました
[ス]
「ちえっ/ 山陰なんかやめて/ 九州にでも/ すればよかった」/
[キョ-ツ]
などと考えはじめた/ ころ/ ようやく目的の旅館に/
[コ] [リョ-カン]
たどりつきました
[ス]
知人のいていた/ とおり/ 古い日本式の旅館です
[スイキ][リョ-カン]
玄関には/ 誰もいません

室内のどこから/ か/ テレビの音が/ 聞こえてきます

旅館の人を/ 呼ぼうとしてやると/ 奥の方から/ 黒いネコが/
[リョ-カン]
にゅ(ー)っとあらわれました

黒(い)ネコは/ 当然のことですが/ 客のことなど/ 完全に無視して/
[カソゼン][ムスイ]
玄関わきに置いてあった/ 小皿の牛乳を/ ピチャピチャ/ なめはじめました
[コサリ] [ス]
わたしはネコが好きなので/ しばらくネコの/ 様子を/ ながめて/
[スイ]
旅館の人を/ 呼ぶのを/ わすれていましたが/ そのうちに/
[リョ-カン] [ス]
旅館の主人らしい男が/ あらわれました
[リョ-カン] [スイ] [ス]
身長150センチ/ ちば(っ)かりの/ 小男/ ですが/

なかなか立派な顔つきをしています
[ス]
玄関をあがると(ー)/ 暗い廊下が/ 奥に/ つづいており(ー)/

廊下のつきあたりの座敷に/ とおされました
[ジ'キ] [ス]

さっき/ 主人が/ 【ストーブを...】ストーブの火を/

[ス]

いれていったのですが/ 部屋のなかほ/ なかなか暖まりません

[ア]

不思議におもって(-)/ ストーブをチェックしてみたら(-)/ 原因がわかりました

[ス]

[ス]

石油が/ 切れてしまったのです

[スイ]

やれやれー/ サービスの悪い旅館です

[リョ-カ]

ちょっと気分を悪くしましたが/ 気を取り/ なおして/

[ス]

[ス]

風呂に/ はいることにします

[スイ]

【よく...あ】浴衣に(-)/ きか(が)えて(-)/

【えー】さきほどの廊下を/ 逆にあるいて/ 玄関へ/ でした

[ス]

お風呂の場所を質問し/ ついでに/ ストーブの石油が/ 切れたことを/

[スイ]

知らせておきました

[ス]

風呂場にはいってみて/ びっくりしました

[ス]

この旅館にはまったく似あわないほど/ 立派なひろい/ 浴場なのです

[リョ-カ]

ひろい浴室の奥には/ 石づくりの/ 豪華な風呂/ 桶があり(-)/ 清潔な/

[ジ'ェ]

お湯が/ 風呂桶に/ たっぷり満たされています

ゆっくり/ お湯につかって(-)/ 旅のつかれを/ とりました

[ス]

風呂からあがって/ 座敷にもどる丱/

[ジ'ハキ]

すぐに/ さきほどの主人らしい人物がやってきました

[スジ'ソ][スイ]

[ス]

食事の用意ができたので(-)/ すぐ/ 夕食にするかと

[ソク'ジ]

[エ-ソク]

質問 します

[スイ'モソスイ]

気がつく(-)/ 空腹で/ おなかが/ ペコペコです

[ス]

すぐに/ 食事に してもらうことにしました

[ソクゾ]

[スィマス]

風呂場の立派なことをほめると/ 主人は/ うれしそふな顔をして/

[ス-ズィ]

[ス]

「山陰のごちそうは/ 温泉ですから」といいます

「温泉」が「オンシェン」と/ 発音されるのが/ いかにも/ 山陰の/

風土を感じさせました

[フ]

[ス]

4. 3 韓国語話者の発話の記述例

この話者の発話には母国語音韻の影響が色濃く反映されている。なかでも分節音の面で顕著であるのは、語中の無声子音が韓国語の濃音として発音される傾向である。この種の無声子音は、日本語を母語とする者の耳には促音のように聞こえることが多い。

韻律の面では、句の末尾が卓立される傾向が顕著である。韻律上の句は多くの場合ポーズと一致しているが、そうでない場合も散見する。興味ぶかいことに、対話1→対話2→独話の順に、句末の卓立が増加するようにおもわれる。話者の疲労と関係しているのかもしれないが、あるいは、独話の様に、ひとつひとつの文が長い文章の朗読では句末の卓立が増加しやすいのかもしれない。

===== 対話1 =====

A 角田先生を御存知ですか↑

[コ'ジ'ョソ]

B はい/ 3週間ほどまえに/ 初めておめにかかりました

[ソキソ]

この大学に 客員教授でいらっやって/

[カキ]

いくつか集中授業をしていただきましたが/ そのときに/ 紹介されたんです

[フ]

A 一昨年/ 東京の一流の/ 出版社から/ 出版された/ 社会学の辞典があります

[イ-カネ]

[イリ]

[ソヤカ]

[ソ'ッソ]

出版されてすぐ/ 学会の/ 賞を/ 【受】受賞した/ 有名な辞典なんですが/

[カカ]

[ソ'ユソ]

[ソ'ッソ]

その辞典の中心的な/ 著者のひとりが/ 角田先生なんですよ
[ジッテン] [カキダ]

B そうですか

そんな/ 有名な/ 出版物に/ 参加していたとは/ 不思議な気がしますね
[ソコナ] [ユウブツ] [イッパ] [フツキ]

何しろ/ あの先生は/ 授業のないときは/ タバコと一緒に/ コーヒーや/
[シキョ] [コイ]

お茶ば(っ)かり/ のんでいる/ でしょう
[ハッカリ]

それに/ 学生のはなしでは/ 授業中にも/ リンゴや/ チョコレートを/
[ジウキョチュウ] [ショコレート]

かじっていたり/ するらしいから/ ひょっこり/ 授業にでた人は/
[カジテ イッパ] [シキョニデタ]

ギョッとしますよ

普通の/ 人には/ 理解しにくい/ 人じゃないでしょうか
[フツウ] [カイ]

いわゆる変人って/ いうるんでしょうか

A そうですねえ/ 全然/ 常識がないと/ いうわけじゃありませんが/
[ゼンシキ] [イハ]

確かに/ 変わった人物です
[カワフ]

教師としても/ 学生の評判は/ あ(ん)まりよくないようです
[キョウシ] [ヘイバ]

そもそも/ 教育がすきじゃないんですね

しかし/ 研究者としては/ 普通に/ ちゃんと通用していますよ
[シカシ] [キョウジ] [フツウ] [チンチン]

【イギリスに/ 長く/ 留学s】イギリスに/ 長く留学していた人で/

もともとは/ イギリスの/ 議会制度を/ 専門に/ 勉強していた/ 人だったんです
[モトモト]

若いころから/ 元気な人で/ 流行に/ とらわれない/ 研究を/
[ワカコロ]

活発にすすめてきた/ 人ですが/ 最近では/ 帰国/ 子女の/ 就学問題や/
[カツパ]

日本の/ 海外援助の/ 問題で/ 有名な/ 分析を/ 発表しています
[ニッポン] [イミ] [ブンセキ] [ハツヒョ]

ほかの領域の/ 研究者と/ 激しい/ 論争を/ したりも/ しているんですよ

[ケンキョ-サ] [シツクリ] [シツテ]

彼は/ ちょっと/ 議論が/ 辛辣なので/ 嫌われる/ ことも/ あるようですけれど/

[シツラフ]

同じ専門の人たちは/ 彼の/ 業績を/ 高く評価していますよ

[ヒトガチ]

B へえ↑/ そりゃあ/ まったく/ 初耳だなあ そうだったんですか↑

[ソリヤア] [ハチミ]

A まあ/ 彼の場合/ あの異常な/ 食生活が/ 周囲の/ 理解を/

[セ-ガチ]

混乱させてしまうんでしょね↑

[ジッショ-]

そういえば/ 私も いつか/ 彼の研究室を/ 訪問したら/

[ワダシ] [イカ] [ケンキョ-シツジュ] [シツクリ]

【机】机のうえに/ カレー/ 粉の/ 缶が/ おいて/ あるんです

[チキエ] [ジッス]

何につかうのか/ と質問したら/ 眠たくなったときに/ なめるんだそうです

[カカ] [シツキモシツクリ]

あのときは/ 本当に/ びっくりしたものです

[トッキ] [ホトニ] [シツクリ]

===== 対話2 =====

B ところで/ 社会学といえば/ 日本の社会では/ 自動車が/

[シツカクイ] [ニホニ] [シツカクイ] [ジ-ド-ツキ]

大きな社会問題になっていますね

[シツカクイ]

A そうです

自動車については/ いろいろな問題がありますが/ 最近では/

[ジ-ド-ツキニチ-テリ]

駐車場不足の問題が/ 注目されています

[ツカ]

この街でも/ 週末には/ どの/ 駐車場も/ 満員ですよ

[シユ-マチ] [トコ] [マンニ]

ひと月/ ほど前の/ 週末に/ 駐車違反の/ 一斉/ 取り締まりを/

[シユ-マチ] [イツ]

おこなった/ 午前中だけで/ 50回以上も/ レッカー車が/

[コジ-イシツキダツケ]

出勤することになって/ 結局/ 取り締まりほ/ 半日で/

[シヰチド-] [ケコク]

【中】中止/ せざるを/ えなかったそうです

[シ-ト]

【警察内】警察内部でほ/ 週末だけ/ レッカー車を/ 2~3台/

[ケ-サチ] [シ-マフ]

レンタルしようかと/ 考えて/ いるそうですが/ 今度ほ/

[tal]

そのレッカー/ 車を/ とめておく/ スペースが/ 警察署に/ ないんだそうです

[スハ-ッス] [ケ-サチシヨ]

そんなわけで/ 去年から/ 市議会でほ/ 野党の議員が/ 駅前ほ/

[ヤット-]

無料/ 駐車場を/ 建設するよう/ 市長に/ 要求しています

[カシチ] [ヨ]

[シツテ]

B へえ↑ 無料駐車場↑

無料っていうのは/ ちょっと/ 無茶じゃありませんかねえ↓

[ムリョツテ]

日本は/ そもそも/ 土地の値段が/ 高すぎるんだから/

[ニ-ヲ]

市長が/ 解決できることにほ/ 限界が/ あるはずです

[カイチ]

[ハツ]

その議員さんほ/ 経費の/ ことを/

ちゃんと/ チェックしていない/ んじゃありませんか↑

A まったく/ そのとおりです

税金で/ 無料駐車場/ なんて要求ほ/ ちょっと/ 理解に/ 苦しみますよね↓

[シヨウ]

駅前ほ/ 論外【S:】/ ですし/ 駅の近くに/ だって/ 無理なことは/

[タツテ]

[ゴト]

中学生にだって/ わかるはずなんですが/ どうも/ 市議会の野党議員ほ/

[シ]

[トウモ]

[ヤット-キ-イン]

下手な/ 鉄砲/ も/ 数うちゃあたる/ と/ おもっているようです

[テッポウ]

[カスウツチ]

[ヨ]

B 市長さんも/ 次の選挙のためほ/ その場/ しのぎの/ 変な返事を/

[チ-ノセツキョ/タメ]

したりしてほいけません

[シツカリツケ]

それに/ 軽々しい/ 約束は/ 選挙にも/ 逆効果ですよ

混乱を/ まねくば(っ)かりですからね

===== 独話 =====

今年の/ 1月5日に/ 山陰の/ 小都市に/ 旅行に/ でかけました

[イガ イガ] [サニ] [カ]

東京から/ 京都まで/ 新幹線で/ ゆき

京都で/ 別の/ 列車に/ のりかえました

[ハフ]

のりかえたのは/ ディーゼル/ 列車で/ 雪に/ 【おお】おおわれた/

中国山地の/ なかを/ ゆっくりと/ 進んでいきます

[ソデ イマス]

4時間ちかくかかって/ やっと/ 目的の駅に/ 停車しました

[カ]

プラットフォーム(ホーム)に/ おりると/ 冬の/ 山陰の/ 非常な/ 寒さが/

[サニ]

身に/ しみました

どんよりとした/ 天気で/ 雪もちらちら舞っています

駅から/ 旅館まで/ 歩いていくうちに/ すっかり/ ござえてしまいました

[リョカ]

旅館を/ 紹介してくれな/ 知人の/ はなしでは/

[リョカ]

本当は/ 15分ぐらいしか/ かからないはずなのですが/

[ホトリ] [フェゴフ] [ハ]

重症の/ 方向オンチのわたしは/ 道に/ まよってしまい/

[ホトリ] [リダ]

雪に/ ぬかるんだ/ 道を/ 30分かかて/ 歩き/ まわりました

[アリキ]

「ちえっ/ 山陰なんかやめて/ 九州にでも/ すればよかった」などと/

[サニ]

考えはじめたころ/ ようやく/ 目的の旅館に/ たどり/ つきました

[ゴ]

[リョカ]

[キ]

知人の/ 聞いてたとおりの/ 古い日本式の旅館です

[イタトリ]

[リョカ]

玄関に^は / 誰もいません

[ゲンカウ]

室内の^ど / どこから^か / テレビの^音が / 聞こえてきます

[シツナイ] [トコカガ] [テレビ]

旅館の^人を / 呼ぼう^としている^と / 奥の^方から / 黒いネコが /

[リョウカン] [ヨボウ] [シツテ] [ネコ]

に^ゅっ^と / あられました

黒ネコは / 当然のことですが / 客のことな^ど / 完全に無視して /

[トウジツノ コット] [シツテ]

玄関わきに / 置いてあ^った / 小皿の^{牛乳}を / ピチャピチャ /

[ゲンカウ] [アタ] [コサテ] [キニニ]

なめはじめました

わたし^は / ネコが好きなので / しばらく / ネコの^{様子}を / ながめて /

[ワガツウ] [ナガメテ]

旅館の^人を / 呼ぶの^を / わすれていましたが / そのうち^に /

[ワスレテイマツタ]

旅館の^{主人}らしい男が / あられました

[リョウカン]

身長 / 150センチば(っ)かりの^{小男}ですが / なかなか / 立派な^{顔つき}を /

しています

[シツテ]

玄関を^あがる^と / 暗い / 廊下の^奥に / つづいてお^り / 廊下の^{つきあたり}の /

[ゲンカウ] [フジイ] [ロウカ] [ツキアタリ]

座敷^に / とおされました

[ザシキ]

さっき / 主人が / ストープの^火を / いれてい^った / のですが / 部屋の^{なか}は /

[ストブ]

なかなか / 暖まりません

不思議におも^って / ストープを / チェックしてみたら / 原因がわかりました

[フシキニ] [ストブ] [ゲンニン]

石油が / 切れてしまった^のです

やれやれ / サービスの / 悪い旅館です

ちょっと / 気分を悪くしましたが / 気をとりなおして /

[キアン]

風呂に/ はいることにします

[ゴト]

浴衣に/ きかえて/ さきほどの/ 廊下を/ 逆にあるいて/ 玄関へ/ でした

[サッキ]

[キツ]

[ゲンガニ]

お風呂の/ 場所を/ 質問し/ ついでに/ ストープの/ 石油が/ 切れたことを/

[ハツツヨ][シチュモン] [チーニ]

[ヒツキ]

[ゴト]

知らせておきました

風呂場にはいってみて/ びっくりしました

[ミツ]

この旅館には/ まったく/ 似あわないほど/ 立派な/ ひろい浴場なのです

[リョウカン]

ひろい浴室の/ 奥には/ 石づくりの/ 豪華な/ 風呂桶があり/

[ヨクツ]

[ツ]

[ゴウカ]

[ワロツケ]

清潔な/ お湯が/ 風呂桶/ に/ たっぷり/ 満たされています

[セキチ]

ゆっくり/ お湯につかって/ 旅の/ つかれを/ とりました

[チカ]

[チカ]

風呂から/ あがって/ 座敷にもどると/ 【すぐ】すぐ/ さきほどの/

[サッキ]

主人らしい人物が/ やってきました

[シヨフチ]

食事の用意が/ できたので/ すで/ 夕食に/ するかを質問します

[ヌカツ] [シモン]

気がつく/ 空腹で/ おなか/ ペコペコです

[チカ]

すぐに/ 食事にして/ もらうことにしました

[ツツ]

[ゴト]

風呂場の/ 立派なことを/ ほめる/ 主人は/ うれしそうに/ 顔をして/

[シツツツ] [ウツツツツ]

「山陰の/ ごちそうは/ 温泉ですから/ 」といます

[サンニ]

「温泉」が/ 「オンシェン」と/ 発音されるのが/ いかにも/

[ハチエツ]

[イカ]

山陰の/ 風土を/ 感じさせました

[サンニ]

=====
参考文献 Halim, Amran, "Intonation in relation to syntax in Bahasa Indonesian," Jakarta, 1974.